

第 30 回教育支援のための FD ワークショップ

**ヤングケアラー・若者ケアラー問題を考える
—家族・親族の介護・看護を担う学生への支援—**

ヤングケアラーの法令上の定義はありませんが、文部科学省や厚生労働省の web サイトでは「一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」と説明されています。「子ども」というと 18 歳未満を連想しがちですが、諸外国で使われる定義を見ると 30 歳代までを含んで「ヤングケアラー」と呼んでいるようです。日本では、18 歳未満をヤングケアラー、18 歳から 30 歳代を「若者ケアラー」と使い分けることもあります。親やきょうだい・祖父母の介護や看護のために、学校や大学に行けない、勉強をすることができない、友人との交流や課外活動などの子ども・若者に当然に保障されるべき活動や生活が困難な状態にある人々の存在は、近年メディアなどでもようやく注目されるようになってきたところで、省庁による調査も行われたりしています。

本学の学生も含めて大学生にも該当者はおり、留年や中退に追い込まれることもあります。家の中のことであるために外から気づかれないことが多かったり、気づいた人々も「しっかりしたお子さんで安心」と思ってしまったたりすることも少なくないようですが、実際には本人の学業やキャリア形成等に深刻な悪影響を与えることもあります。そこで第 30 回教育支援のための FD ワークショップでは、本学の女性研究者支援室で介護相談も担当されている湯浅美佐子さんに講師をお願いして、ヤングケアラー（若者ケアラー）問題について考えたいと思います。皆様ふるってご参加ください。

開催日時:2021 年 10 月 29 日(金曜)(13 時 15 分～14 時 45 分)

開催場所 :Zoom によるオンライン開催

話題提供:湯浅美佐子(女性研究者支援室 介護アドバイザー)

「ヤングケアラー・若者ケアラー問題を考える」

※ **【大阪市立大学・大阪府立大学の教職員限定】**で実施します。

※ 40-45 分程度話題提供をいただき、その後に質疑を行います。

進行：西垣順子・橋本智也（大学教育研究センター）

オンライン運営：平知宏（大学教育研究センター）

【参加方法】10 月 27 日水曜正午までに申込フォーム <https://forms.office.com/r/yQWBjizLhp> より、お申し込みください。開催日までに Zoom アドレスをお送りします。

【問い合わせ先】大学教育研究センター：rdhe-event@list.osaka-cu.ac.jp

共同主催：教育開発支援室

共催：女性研究者支援室・全学共通教育教務委員会（案）・全学 FD 委員会（案）

全学 SD 委員会（案）

（全体企画：西垣）